

2026 1 学年 SS 基幹探究 探究基礎 I 報告

◇期 日：令和 8 年 4 月 22 日（月）からの毎週月曜日 4 時限・木曜日 6 時限

◇場 所：図書館・化学実験室・教室

◇参加者：第 1 学年探究科学学科生徒 80 名

探究基礎 I では、各教科 2 名の先生方によるティーム・ティーチングの授業を、1 班 16 名の少人数編成で、国語、地歴公民、数学、理科、英語を 3 時間ずつ行ない、さまざまな分野のテキストを用いて探究活動の基礎となる「読み解く力」を養った。

国語科

芥川龍之介の「羅生門」を読んで、叙述の特徴や効果、登場人物の心情の変化とその理由について理解、考察した。その後、「羅生門」と「今昔物語集」とを比較し、2 作品の相違点や、芥川がこの話を通して何を伝えなかったのか考察した。



地歴公民科

地理分野では、アフリカの貿易について考察した。4 人班に分かれて、誰がどの分野について調べるかを決めて、調べた結果から各国の経済活動について読み取ることを考え、共有した。

歴史分野では、コロンブスが西インド諸島に到達した時とその前後についての史料を読み取り、問いに答えた。

公民分野では、4～6 人の班に分かれて、新聞各社の憲法改正についての記事を読み、要約や、他社の記事との比較を行った。他社との比較では、同じテーマについての記事であるのに大きな違いが見られ、興味深く感じた。



数学科

自然数の累乗和の法則について、4 人班に分かれて話し合い考察した。人によって異なる解法を用いていて、自分の考え方の視野を広げることができたと思う。



理 科

水中での物質の観察、水の沸騰、磁石を金属のパイプに落とすという実験を行い、実験でみられた現象に関する資料を読んで自分なりの考えをまとめた。考えと事実が異なることももちろんあったが、同じ班の人とも協力し、自らの考えを深め、新たな考え方をえることができた。



英語科

英文に素早く目を通して、その文章の中心となるキーワードやフレーズを探す Skimming、文章中からある特定の単語を素早く見つけ出す Scanning の練習などを行なった。短時間で特定の語や、話題の中心となるものを探すのにはあまり慣れておらず少々苦戦した。しかし今後、絶対に必要となるスキルなので、普段からこのような意識を持ち続けたいと思う。



探究基礎Ⅰの授業を通して、「読み取る力」や「2つの資料を比較する力」を伸ばせたと思う。また、読み取り、考え、共有し、さらに考えを深めることは、探究することの難しさでもあるが、同時に楽しさにも触れることができた。今後の探究活動にも全力で取り組んでいきたいと思う。